

商工会議所の動き



参加人数 / 11名
参加企業 / 9社

ナイトタイムエコノミー（夜間における経済活動）をテーマに、神戸市における賑わいづくりや、街中の回遊性向上に向けた取り組みなどを視察した。神戸市では、地元住民の暮らしに寄り添った仕掛けづくりが徹底され、夜間に気軽に立ち寄れるイベントなどが適宜開催されていた。

視察会では、神戸商工会議所賑わい創出委員会との意見交換会も開催。神戸商工会議所から、中内仁委員長（神戸ポートピアホテル代表取締役社長）をはじめ10名が参加。各社におけるナイトタイムエコノミーの取り組みを共有した。

その他、ウォーターフロントエリアや三ノ宮駅周辺の再開発なども視察した。

7.2~4

神戸市観光産業視察研修

担当 / 観光・サービス部会



講師 / 神戸大学経済経営研究所
教授 佐藤隆広氏
参加人数 / 40名 参加企業 / 28社

高い経済成長を続ける「グローバルサウス」諸国の経済概況やビジネスチャンス把握を目的で、全5回シリーズの勉強会を開催。

第一回はインドをテーマに、現政権下の政治経済動向や進出日系企業の経済活動について、データに基づいて講師より紹介があった。また、グローバルサウスにおけるインドの位置づけや、地中海に向けたインフラ開発「インド・中東・欧州経済回廊」と、これに関連した日系企業のビジネスチャンスについても説明がなされた。講師の佐藤教授は「日系企業のアフリカビジネス展開にあたり、インドが重要な足がかりになる」と力説した。

7.8

第一回グローバルサウス勉強会「インド編」

担当 / 地域活性・振興課



講師 / 同志社大学 法学部教授
村田晃嗣氏
参加人数 / 84名 参加企業 / 61社

トランプ大統領が相互関税政策を発表する中、今後の日米関係や関税政策の行方について同志社大学教授の村田晃嗣氏に講演頂いた。

トランプ大統領について「大統領選では接戦に追い込まれ、国内の権力基盤は弱く、そのために大統領令を乱発している」と指摘した。また、「世界各国を巻き込んだ関税の引き上げについては、公約に掲げたインフレの解消ができず、アメリカ国内のインフレはさらに進み、任期が残りと3年半となる中、強い焦りが見られる」と分析した。その上で次の大統領選では「世代交代が起きる」と予想し、「日米が若い世代の人脉を構築することが大切」と訴えた。

7.9

国際情勢講演会

担当 / 地域活性・振興課



参加人数 / 15名
参加企業 / 12社

国内有数の先端工場の生産工程・研究開発体制や、ICT・IoT、産業ロボット技術の進展を探るため、コマツ大阪工場と秘密基地人機一体を視察した。コマツでは中大型ショベルの生産ラインを見学し、巨大重機が組み上がる迫力に圧倒された。また、重機の遠隔操作デモと、ICTによる複数台操縦の説明を受け、生産性向上や他分野での活用が期待される技術であると実感できた。滋賀県の（株）人機一体は災害等のインフラ復旧などでロボット活用を目指す大学発ベンチャーで、創業者の金岡博士の講演と双腕ロボットの精密操作に強い感銘を受けた。両社とも社会インフラを支える新たな価値創出の可能性を感じるものであった。

7.14

未来産業を担う技術動向視察

担当 / 工業部会

商工会議所の動き

7.14

新入会員交流会2025

担当/会員サービス課



参加人数 / 25名
参加企業 / 25社

入会してから3年以内の事業所を対象に、新入会員交流会を開催。はじめに、八木会頭からの歓迎挨拶と、職員による会員向けサービスの紹介があり、参加者は当所の支援体制やサービス内容への理解を深めた。続いて、参加者全員が自社の事業に加えて、趣味や関心ごとなども交えた自己紹介を行った。

その後の自由交流では、名刺交換をしながら積極的に事業をPRする姿や、互いの話題で盛り上がる場面が各所で見られた。ビジネス・プライベートを問わず幅広い会話が交わされ、終始活気のある雰囲気にも包まれた。今後のつながりや協力関係のきっかけとなる、有意義な交流の場となった。

7.14

創業実践塾(第1回)

担当/創業・経営支援課



講師/いやさか創研(株)
代表取締役 高原裕一 氏
参加人数 / 24名

創業の前後で求められる経営の基礎知識を全5日間ですべて「創業実践塾」を開講。創業予定者を中心に24名が受講した。

第1回では「ビジネスプランの策定」をテーマに、事業のコンセプト作りや、成功するビジネスモデルの仕組みについて学んだ。講師を務めた高原氏は「顧客が本当に求めているものをベースにビジネスプランを考えることが、事業成功への鍵である」と解説した。

第2回以降では「財務会計・税務」「マーケティング」「販売促進」などを学び、最終回では講義で学んだ内容を踏まえて作成した創業計画書の発表を行う。

7.17・18・24・25

原子力人材育成研修

機械組立技能基礎

担当/産業技術・DX推進課



講師/日鉄ビジネスサービス(株) 和歌山教育・サービス室
技能教育課 辻田 拓也 氏
参加人数 / 9名 参加企業 / 8社

県内企業の技術力向上や人材育成を目的とした研修シリーズ「原子力人材育成研修」を開催。7月から12月にかけて全14回の講義を予定しており、原子力分野に携わっていない製造業の事業者に対しても、実践的かつ基礎的な技能や知識を提供する内容となっている。

今回は、機械の構成要素や部品、組立の基礎に焦点を当てた研修を実施。受講者は実機を用いてボルト・チェーンの張り調整といった実習を体験した。

実習を通して、参加者同士の意見交換も活発に行われ、機械組立の実務への理解を一層深める機会となった。

7.18

福井県アスリートセカンドキャリアセンター設立記念講演会

担当/創業・経営支援課



登壇者/元サッカー日本女子代表 澤 穂希 氏
フリーアナウンサー 福田 布貴子 氏
参加人数 / 220名

福井県、経済界、スポーツ界が一体となって、アスリートの現役時代から引退までの就職支援を行う「福井県アスリートセカンドキャリアセンター」の設立を記念し、元サッカー女子日本代表の澤穂希氏を招いた講演会を開催。企業経営者やスポーツ関係者など220名が参加した。フリーアナウンサーの福田布貴子氏との対談を通して、自身の現役時代の経験やワールドカップ日本初優勝の舞台裏、引退後の人生設計について語った。澤氏は現役時代からセカンドキャリアについて相談できる場所や考える機会提供の必要性を説き、当センターの取組みが全国へ広がることへの期待を語った。



講師／株式会社タイミー
松田 祈 氏
参加人数／96人
参加企業／62社

多くの企業が慢性的な人手不足に悩まされる中で、短時間・単発の新しい働き方「スポットワーク」を活用した人材確保の手法を解説するセミナーを実施。本セミナーは(株)タイミーとの連携事業第1弾として開催された。

講師からは、「求職者が重視する条件は『給与』から『通いやすさ』へと変わっている。また、求人検索時のキーワードも『短期』や『日払い』がトレンドである。」と説明があった。また、業種ごとのスポットワーク活用事例も紹介され、福井県内で実際にタイミーを活用している企業として(株)甘泉堂からの事例発表が行われた。

7.23

スポットワークを活用した 人材確保セミナー

担当／創業・経営支援課



講師／(株)ビジネスプラスサポート
上田 裕絵 氏
参加人数／44名
参加企業／38社

講義では、正当な苦情・クレームとの違い、初期対応のポイントなどについて解説。講師から「合理的で筋が通っているかどうか、対話を通じて解決できるかがポイントになる。」と説明があった。また、対応の基本姿勢として「相手の感情に乗せられず、毅然と対応することが重要」と強調した。

受講者は、組織内のマニュアル策定や再発防止のための体制構築に活かすため、事例を基に適切な対処方法を学んだ。

なお、受講者アンケートでは、直近1年間でカスタマーハラスメントの被害があったとする回答が46.3%あった。

7.28

カスタマーハラスメント 対策セミナー

担当／金融・会計相談課

Chamber calendar 会議所カレンダー

July

- 1日 常議員会、臨時議員総会・7月度議員懇談会
- 8日 グローバルサウス勉強会(〜9/19)
- 9日 国際情勢講演会
- 海外業務担当者ネットワーク交流会
- 14日 創業実践塾(〜8/21)
- 17日 原子力人材育成研修 機械組立技能基礎(〜25日)
- 18日 福井県アスリートセカンドキャリアセンター設立記念講演会
- 23日 スポットワーカーを活用した人材確保セミナー
- 28日 カスタマーハラスメント対策セミナー

August

- 2日 第72回福井フェニックスまつり(民踊大会)
- 6日 新入社員フォローアップ研修(〜7日)
- 20日 副業・兼業人材活用セミナー
- 原子力人材育成研修 測定技術(〜21日)
- 25日 原子力人材育成研修 品質保証基礎
- 26日 第51回合同プレス発表会
- 28日 原子力人材育成研修 シーケンス制御(〜9/5)
- 29日 商談力向上セミナー

September

- 4日 商品磨き上げセミナー
- 5日 中堅社員研修(リーダーシップ&フォローアップ養成編)
- 8日 事業引継ぎ・M&A個別相談会(〜10日)
- 9日 原子力人材育成研修 作業安全に関する関連法令
- 10日 経営者・経営幹部のための新事業構想プロジェクト研究(〜2026/3/4)